



曖昧であった自分の考えが徐々に整理されたり，日ごろは忘れていた体験や自分自身のことを思い出したりする。これらの意義を意識した活動を取り入れることにより，児童は道徳的価値をより強く自分とのかかわりでとらえることができるようになる。

これらの活動を深めるには，先に示した話合いの工夫，書く活動の工夫，表現活動の工夫等，多様な指導方法を効果的に生かすことが望まれる。

### (3) 児童が自ら成長を実感できるようにする工夫

児童が道徳的な成長を自ら実感する場合，一単位時間の指導の中での成長について実感するときと，以前の自分自身と比較しての長期にわたる自己の成長を実感するときがある。長期にわたる成長は，例えば書いた内容などの一定期間の変化等によって実感することができるが，道徳の時間の一時間の指導の中において児童が自己の成長を実感することは難しい場合が多い。そこで，学習を通して児童が何に気付いたり，何を理解したり，どのような考えや思いが深まったりするのかを予想して授業に臨むようにすることが重要になる。

実際の指導に当たっては，効果的な方法を生かして成長が実感できるように工夫することが望まれる。例えば，学習を通して，はじめの段階と自分がどう変わったかが分かるような書く活動の工夫，児童が想定したもう一人の自己に問い掛けて考えを深める自己内対話の工夫などが考えられる。また，事前に以前の様子を想起できるような具体的な材料を収集したり，児童に収集させたりしておき，それを生かして学習を進める工夫なども考えられる。

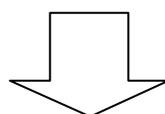
## 2 言語活動の充実を図るため，次年度の年間指導計画にどのように位置付けたらよいか。また，どのような授業の展開例が考えられるか。

### (1) 本年度の年間指導計画をどのような視点から見直せばよいか。

解説編の年間指導計画の内容には，

道徳の時間の指導の時期，主題名，ねらい及び資料を一覧にした配列表のみでは年間指導計画としては機能しにくい。そのような一覧表を示す場合においても，展開の大要等を含むものなど，各時間の指導の概要が分かるようなものを加えることが求められる。

と述べられていることから，



上記の言語活動の充実のポイントを踏まえ，例えば，次のような活動を道徳の時間の中に取り入れていきたい。

ア 児童が自ら考えを深めたり，整理したりするための書く活動

イ 児童相互の考えを深めるための話合い活動

ウ 児童が特定の役割をもって即興的に演技する活動や，動きやせりふの真似をして理解を深める活動

### (2) 見直しの視点を踏まえて，どのように改善すればよいか。

年間指導計画の中に展開の大要等に，言語活動の充実を図る場面等を示す等の見直しが考えられる。例えば次のような年間指導計画の見直しが考えられる。

「学研 みんなのどうとく4年 鹿児島県版を基に作成）」

月	(主題名)資料名	ね ら い	指導要領との関連	他の教育活動との関連
6月	(じぶんのことは自分で)エジソンとえいじ	自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。  【展開の大要】 は言語活動の充実を図る場面 しなければならないことをきちんとできなかった経験を考える。 資料を読み、主人公の心情を考える。 机に向かったえいじは、本を読みながらどんなことを考えたか話し合う。 宿題を出せずに厳しく言われてしまったえいじにアドバイスの手紙を書く。	1-(1) 節度・節制,自立	・係活動 ・当番活動 ・清掃活動 ・学習活動
7月	(本当のゆう気とは)心にひびくかねの音	正しいと判断したことは、勇気をもって行う。  【展開の大要】 は言語活動の充実を図る場面 勇気をもって行動して、よかったと思うことを発表する。 資料を読み、アルベルトの気持ちについて話し合う。  このように年間指導計画の大要の中に言語活動の充実を図る場面を明記する。その場面において、例えば自分の考えをまとめて発表する活動や討論、交流活動、役割演技や動作化などの表現活動を行い、言語活動の充実を図っていく。  勇気をもって行動することのできる自分を想像する。 教師の体験談を聞く。	1-(3) 勇気	・朝の会、帰りの会 ・総合的な学習の時間 ・特別活動 ・人権教育に関わる活動

(3) 授業展開の参考例

- ア 主題名 「心のブレーキ」(1-(1)節度・節制,自立)  
資料「エジソンとえいじ」(学習研究社 みんなの道徳4年鹿児島県版)
- イ 目 標 自分ができることを、よく考えてしっかり行おうとする態度を育てる。
- ウ 展 開

過 程	主な学習活動と予想される子どもの反応	教師の働きかけと留意点 は言語活動の充実を図る場面
気 付 く  (5分)	1 過去の経験を基に、しなければならないことをきちんとできなかった経験を話し合う。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面倒くさくなって、手伝いをしなかったことがあるなあ。</li> <li>・ 遊びたくて、掃除をしなかったことがあったよ。</li> </ul> </div> 2 学習目標について話し合う。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんなときも自分ができることをきちんとするためには、どんな気持ちが必要だろう</p> </div>	事前のアンケート調査を基に、すべきことができなかった経験を想起させ、それについて話し合うことで、子ども一人一人が本主題について課題意識を持つことができるようにする。  過去の経験を基に、本時で話し合ってみたいことを学習目標として設定する。
見 つ め る  (25分)	3 資料「エジソンとえいじ」を読み、主人公の心情を話し合う。 (1) 話し合いたい場面を発表し合う。 (2) 感想文を書いて遅れたゆう太の言葉に対して、えいじはどんなことを考えたのか話し合う。	教師の朗読を聞きながら、主人公の心の動きや行動を、自分の経験や思いが重なる部分に線を引かせる。 ・感動、憧憬(すごいな。自分もそうなりたいな。) ・共感(同じような経験がある。) ・疑問(どうしてそんなことをするんだろう) 朗読を聞いた後で、線を引いた部分について話し合うことで、場面の

見 つ め る (25分)	<p>えいじは、ゆう太の言葉を聞いて、 どんなことを考えたのだろう。</p>	<p>焦点化を図る。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想文があったんだ。</li> <li>先に宿題をしないといけないな。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>宿題より改造の方が楽しい。</li> <li>宿題は後からやればいいや。</li> </ul>	<p>心情図を活用して、子ども一人一人が主人公の「迷い」の部分に共感できるようにする。 自分が表した心情図を友達と比較し、「迷い」の割合の違いの理由を話し合うことで、道徳的価値に対する考えを広げようとする。</p>
深 め る (10分)	<p>(3) 机に向かったえいじは、本を読みながらどんなことを考えたか話し合う。</p>	<p>動作化を行い、宿題をすることができなかった主人公の気持ちに深く共感することができるようにする。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>眠い、どうしよう。</li> <li>先にしておけばよかった。</li> <li>どうして先にしなかったんだろう。</li> </ul>	<p>主人公に対してアドバイスの手紙を書くとき、一人一人が自己の考えを見つめ、他者と考えの交流を行うことで、本時の大切にしたい考えや意義について深く考えることができるようにする。</p>
高 め る (5分)	<p>宿題を提出しなくて叱られてしまったえいじにアドバイスするとしたら、 どんなことを教えてあげるかな。手紙で教えてあげようね。</p>	<p>本時の学習を基に、自分ができ ることはきちんと行う上での大切な 構えや気持ちを考えさせ、ワーク シートに記入させる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、遊びたいのを我慢してピアノのレッスンを頑張ったよ。</li> <li>ちゃんとやろうという気持ちが大切だと思うよ。</li> </ul>	<p>ワークシートの記入事項を基に、 友達と考えの交流をさせ、自分の 経験と照らし合わせて考えを広げたり 深めたりできるようにする。</p>
	<p>4 これまでの自分を振り返り、自分が できることをきちんとするために大切 にしたい気持ちを話し合う。</p>	<p>【評価】 自分ができ ることを、どんな時も よく考えて行おうとする意識を高め ようとしたか。(類、ワークシートによる)</p>
	<p>自分ができ ることをきちんとするこ とについて考えてみよう。大切だと思 うことや、できたとき、できなかった ときの気持ちをカードに書き込んでみ よう。</p>	<p>家族からのメッセージは、事前に 学級PTAで保護者に依頼しておく。 また、保護者全員分のメッセージ が揃わない場合は、教師による説話 (体験談)により締めくくる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊ぶ前に宿題をすませたから、 後は楽しく時間いっぱい遊べたな あ。</li> <li>頑張ろうという気持ちをもって 係活動の仕事をきちんとすることが できたよ。</li> </ul>	
	<p>5 本主題にかかわる家族からのメッ セージ(手紙)を読み、本時の道徳的 価値に関する実践意欲を高める。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>できていない係活動を頑張って いきたいな。</li> <li>よく考えることって大切なんだ なあ。</li> </ul>	

「鹿児島市立山下小学校の実践を基に作成(H21)」